

2026 年 7 月 23 日

原子力土木委員会
委員長 大鳥 靖樹 様

複合災害下での原子力防災における避難の課題と対応に関する研究小委員会
期間延長について

小委員会委員長 蛭沢 勝三

記

・ 現行期間 :

令和 6 年 7 月～令和 8 年 6 月

・ 延長期間 :

令和 8 年 7 月～令和 9 年 6 月

・ 延長理由 :

当該小委員会では、令和 6 年度から令和 7 年度前半において、複合災害下での原子力防災における避難の課題と対応に関する研究 WG における“原子力防災における避難に関する課題の分析”を踏まえて、小委員会各委員から“原子力防災における避難”に係る話題提供をいただいた。同話題を通して、WG での課題に関する対応の考え方と解説の作成を進めていたが、追加課題があり整理分析が遅れた。

令和 7 年度後半において、小委員会活動の取り纏めを進めると共に、公開のワークショップ及びシンポジウムを計画したが、達成されていない。

小委員会活動の取り纏めと公開ワークショップ及びシンポジウムを実施するために、小委員会活動の 1 年間の延長をお願いいたします。

・ 予算 : 125,000 円

ハイブリット開催を計画しているシンポジウムに関する旅費およびパネルディスカッションにおける外部からのオンライン参加予定者に関する謝金について小委員会活動費を申請いたします。

内訳 :

シンポジウム関係旅費 : 95,000 円

内訳

蛭沢勝三小委員長 (盛岡-柏崎 往復+宿泊:52,000)

中村 晋幹事 (郡山-柏崎 往復+宿泊:43,000)

謝金(パネリスト 3 名) : 30,000 円(90 分以内)

以上